令和３年度　渋谷区立神南小学校コミュニティスクール

２月　学校運営協議会　記録

日　時　令和４年２月１７日（木）16：00－17：50
場　所　神南小学校　校長室
参加者　大石、近藤、遠藤、銘苅、五十嵐、黒田、小黒、齋藤、鈴木朱、江川、森（敬称略）
司　会　鈴木副校長（記録：森）
欠席者　小野、守原

【内容】

１　校長挨拶

　感染症対策を継続しながら、様々な教育活動を工夫しながら進めている。３月の卒業式、４月の入学式は参加者を制限して実施予定であるが、学校運営協議会の委員の方々には、参加をいただく方向で考えている。また、今回は学校評価について報告する。ご意見をうかがい、次年度の教育計画に生かしていきたいと考える。さらに、防音を目的とした机椅子の足のテニスボール装着に関して、ＰＴＡの予算を活用させていただき、器具を購入する予定である。

２　学校評価報告（副校長）

保護者アンケートを踏まえ自己評価を行った。委員の方々に全体の評価をいただきたい。

	項目	意見	評価
1	シブヤモデルによる学習	・校外学習は、児童の意欲が高まり非常に良い。（委員Ａ） ・引率する保護者にとっても、児童の活動を間近に見られるよい機会となっている。（委員Ｂ） ・安全の見守りが必要な場合には、「ひまわり一ず」も活用するとよい。（委員Ｃ） ・渋谷の町の愛着につながる活動となっている。（委員Ｄ）	Ａ
2	安心・安全な教育環境	・コロナ禍においての活動としては十分ではないか。（委員Ｅ）（委員Ｆ）（委員Ｇ） ・あいさつ指導の基準をはっきりすると、保護者も教員も評価しやすいのではないか。（委員Ｈ）（委員Ｉ） ・保護者同士の関わりが薄くなっていることは心配である。（委員Ｊ）	Ａ
3	働き方改革	・教員の残業時間は減少しているか。（委員Ｋ） ・勤務時間外の会議はなくすことができている。（校長） ・コロナ禍によって教員の負担が増えていることはあるか。（委員Ｌ） ・Home&School のソフトや時間外の電話対応がなくなったことで負担軽減している部分もある。（校長） ・ペーパーレス化は、資源節約に加え作業時間短縮の意味で重要である。（委員Ｍ）	Ａ
4	家庭地域連携	・コロナ禍のために交流活動ができない実態はやむを得ない。（委員Ｎ） ・授業参観では、参観方法を工夫して実施したことはよい。（委員Ｏ）	Ａ
5	特色ある教育活動	・音楽活動や行事など様々な教育活動を工夫して実施している印象をもっている。（委員Ｐ、委員Ｑ）	Ａ

３　校舎建て替え（学校施設係）

・地域、学校関係者の意見を伺いながら計画を進めたいと考える。
・「コンセプト」「必要な設備」など初期段階の構想について、学校運営協議会の下部組織として８回のワークショップ型会議（毎月１回程度）を考えている。
・都市計画設計と学校建て替えは連動して行う計画である。
・次回の学校運営協議会で、ワークショップ会議との関わり方について話し合いたい。（校長）

４　予算執行

・鹿児島の小学校との交流活動に関係する取組に執行することを検討している。（副校長）
・その他、読み聞かせなど読書活動や音楽活動に活用する方法もある（委員Ｒ、委員Ｓ）
・園芸活動に活用する方法もある。（委員Ｔ）

５　その他

・鹿児島市の小学校との交流活動（卒業生保護者）
　・鹿児島市立桜峰小学校とのリモートによる交流を実施することができた。
　・今後、鹿児島読売テレビで番組を放映予定である。
　・感染対策のため、１月と２月の直接交流は延期とした。児童の思いをもとに、３月に神南小の代表児童の鹿児島訪問を計画している。
　・複数の企業に賛同いただき、費用等の支援をいただいている。
　・まん延防止措置の期間など、感染状況を踏まえて交流方法を検討する。（副校長）

（以上）